

ほけんだより

2025年2月号
ニチキッズまつなわ西
保育園

2月3日は「立春」で春の始まりの日ですね。節分は立春の前日にあたる日を指し、2025年の節分は2月2日です。節分は「季節を分ける」という意味があり、暦上の春である「立春」の直前の日が節分に指定されます。2025年の立春は2月3日であるため、その前日の2月2日が節分になります。

◆節分の豆は5歳以下までNG!◆

悲しいことに2020年に4歳の子どもが、保育園の節分行事で豆を詰まらせる死亡事故が起きました。豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないでください。のどや気管に詰まると窒息しやすく、大変危険です。小さく砕いた場合でも、気管に入りこんでしまうと肺炎や気管支炎になるリスクがあります。パンやクッキーやケーキにもクルミやアーモンドやピーナッツなどのナッツ類が入っていますので、周囲の方々にも危険性をお伝えして、みんなで注意するように気をつけていくことが大切です。鼻や耳に入れて取れなくなる事故も起こっています。個装の製品を利用して、小袋に入ったままで豆まきを楽しむなど、安全に行ないましょう。(園での節分は新聞紙を大きく丸めたりカラーボールで行います。) ゴマは、離乳食後期から、すりゴマとして食べても大丈夫です。

冬のあせも・とびひ

冬でもあせもになる?

汗をたくさんかいてそのまま放っておくと、汗の通る管に汗がたまってあせもができます。あせもは、汗をかかずに夏になるものというイメージが強いかもしれませんが、新陳代謝のよい赤ちゃんや子どもは冬でもあせもになりやすいので注意が必要です。



冬にあせもになる原因

冬場はエアコンで室内を温めたり、赤ちゃんに寒い思いをさせないように厚着をさせる事が多いかもしれませんが、赤ちゃんは、大人よりも汗っかきなので厚着をしている上に室内温度が高めだとママやパパが気づかないうちに汗だくになっていてあせもができることがあります。

スキンケアの基本!

洗浄 **お肌を清潔に保つ**
汗や皮脂、ほこりなどお肌についた汚れをきれいに洗い流す。

保湿 **乾燥や刺激からお肌を守る**
水分と油分のバランスをととのえ、うるおいのある健康な状態を保つ。

遮光 **紫外線からお肌をまもる**
紫外線をしっかりカットし、日焼けによるダメージからお肌を守る。

発熱時の登園について

感染症法では、37.5度以上を発熱と定義しています。乳幼児は高熱となりやすく体調変化も起こしやすいことから、現時点では発熱の目安を37.5度とし対応してまいります。

1. 登園前の体温測定において37.5度以上の発熱がある場合は登園をお控えください。
2. 登園後に37.5度以上の発熱がある場合は保護者の方へご連絡させていただきますので、お迎えのご協力をお願い致します。
3. 感染症の場合は、保育園指定用紙の「登園届」及び医師記入の「意見書」のご提出をお願いします。

